



## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		1,191,148円	1,136,508円	777,716円				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	793,000円	757,000円	518,000円				
	一般財源	398,148円	379,508円	259,716円				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	延べ参加世帯	参加の延べ世帯数	世帯	目標	10	10	10
					実績	10	15	9
				目標達成率 (%)		100%	150%	90%
	②	移住相談件数	具体的な移住相談件数	世帯	目標	3	3	3
					実績	2	3	2
目標達成率 (%)				67%	100%	67%		

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		<div style="text-align: center;">                 必需 (+)                    私益 (-)      公益 (+)                  選択 (-)             </div>
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い      妥当性高い (-)      0      (+) 		(影響内容、程度等) ・人口増加の取り組みは、まず町を知って頂くことから始まる。直接来町し田舎の生活を体験して頂くことは、移住に対する不安を和らげるものである。類似事業もないまま廃止又は休止した場合の影響は、移住推進に多大な影響がある	

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		9世帯の参加を得て町の魅力を感じてもらうことができた。移住相談を2世帯から受けたが移住には至らなかった。参加者からは、ふるさと納税が寄せられた。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由)		
実施予定 期 日	H29 年度			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はない		お試し住宅整備事業		
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		町への定住を促進させる事業であり、現在はまだ行政の関与が必要と思われる	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		お試し住宅への体験入居と言うことで、低廉でも利用料は必須と考える。		

### 5 今後の方向性

必要性の点検から <small>実施(予定)時期</small>	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input checked="" type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から <small>実施予定時期</small>	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事業との統合 H29 年度		<input type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から <small>実施予定時期</small>	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	お試し住宅の整備及び移住可能な空き家の確保				